

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	65歳以上の者	結核の早期発見により、早期治療及び感染防止を図る。
現状・課題	受診者の固定化及び医療機関での受診者増加に伴い、検診受診者数は減少傾向にあるが、未受診者を減らすことが必要。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	感染症法
事務事業概要	問診及び胸部エックス線検査（デジタル撮影）を行う。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	結核検診	24回

事務事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	8,039,000	13,272,000	11,522,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	8,039,000	13,272,000	11,522,000
	決算（見込）額 A		円	7,875,303	13,272,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	7,875,303	13,272,000	11,522,000
	正規職員数		人	0.42	0.16	0.16
	人件費 B		円	2,705,640	1,035,200	1,412,160
総事業費 A＋B		円	10,580,943	14,307,200	12,934,160	
市民 1 人当たりコスト		円	249	338	307	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	結核の早期発見、早期治療のため、継続して結核検診を実施する。						

事務事業名	結核予防事業	部・局	健康福祉部
		課・室	健康づくり課
		係	健康管理係

[illegible]